

令和4年度 岡山県立岡山南支援学校 第1回学校運営協議会 記録

令和4年6月7日(火)

於：本校会議室

1 開会

- (1) 校長開会あいさつ
- (2) 令和4年度学校運営協議会委員委嘱
- (3) 学校参加者・委員 自己紹介

2 本会の機能および規約確認

規約承認

- 3 会長副会長選出 会長 吉岡誠一郎 委員 副会長 木村泰清 校長  
会長副会長承認

4 議事

- (1) 岡山県立岡山南支援学校 学校運営協議会の方向性について 伊東主幹教諭 説明  
質問意見なし  
採決 承認

- (2) 岡山南支援学校 今年度の取り組み

①学校経営計画について 木村校長 説明

※質問及び意見

<委員より> (質問)

- ・令和2年度から比べて、先生方の授業に対する意識、授業力向上は見られたか。
- ・居住地校交流の取り組みによって、子どもたちに見られた変化、先生方に見られた変化はあるか。また、居住地校交流のまとめ方をどのようにしているのか。
- ・次年度以降の学校経営計画案の提示の時期はいつになるか。

<校長より> (回答)

- ・2年間の取り組みの中で、年間指導計画に基づいて授業を行うという点や、児童生徒の実態把握をきちんとした上で、授業実践を行い学習評価を行うという点で、職員意識や実践力の向上が見られた。今年度は、さらに深めたい。
- ・交流は会を重ねる中で、成果を上げてきている。相手校によっては、意識が十分でないところもある。そのようなところには、しっかり交流の意義を伝えていくことが大切だと感じている。また、本校は、居住地校交流の記録は残してあるので、次年度の実践に生かしていくことができるようにしていきたい。

- ・来年度の学校経営方針等については、本年度、第3回の学校運営協議会の中で方向性をお示ししたいと考えている。そこでいただいたご意見をふまえて作成し、次年度第1回の本会の中で委員の皆様にも再度提示したい。

<委員より> (意見)

- ・昨年度の研究をまとめたものがあると思うので、第2回の本会の際に配付していただきたい。
- ・先生方の授業の様子、児童生徒の様子を見せていただきたい。参観が難しければ動画でもよい。

他に質問意見なし

採決 承認

② 今年度の年間計画について 説明 木村校長

質問意見なし

採決 承認

5 連絡

(1) 部会内容報告

① 地域連携 なのはなプロジェクトについて 倉永教頭 報告

<委員より> (意見)

- ・地域へ出ていくときは、何のためにその活動を行うのかということを確認しておくべきだと考える。先ほどの居住地校交流の説明の時にも感じたのだが、数だけを追うことがないよう気をつけてほしい。

<委員より> (意見)

- ・発信していくことは大切であると考えます。しかし、どうしても活動の一部になってしまう。やはり大切なことは、何のためにその活動を行い、子どもたちが何を学んだのかということだ。

② 地域防災プロジェクトについて 日下部教頭 報告

<委員より> (意見)

- ・数年前に支援学校に通うお子さんたちは、パニックになったら大変だというテレビ報道を見た。したがって、内尾南町内会としては、この学校を災害時の利用を考えていなかった。もし使えるのなら、ありがたいが行政を含めて詰めておかなければいけないことが数多くあると考える。

<委員より> (意見)

- ・南支援として、地域への貢献はしっかりして欲しい。災害時は地域の方も被

害者なので、その中でどこに避難して、どのように過ごすのかは、大変大きな課題だと思う。岡山市の危機管理室の方と話す機会があるので、今日の話は、興味深く聞かせてもらった。

#### <委員より> (意見)

- ・ 本校を避難所として開設するのなら、施設のどこをどのように活用するのかを地域の方と議論しておくべきだと思う。

#### ③ 学校評価について 副校長 報告

##### 各委員から一言

- ・ 防災語ろう会には参加させてもらい、質問や考えを発言しようと思う。
- ・ 学校経営計画書を見て、これを現実にするのは、本当に大変だろうなと感じた。PDCAを回していくということだったので、数値目標なども出てくるのではないかと思う。2回目3回目で、また話を聞きたい。
- ・ いろいろお話が聞けた。個人的には、子どもたちが1番、2番目が先生方、3番目が地域とのかかわりでよいと思う。防災の話もあったが、いろいろなシミュレーションをしていってほしい。河川防災ではタイムラインも大切になってくると思う。
- ・ 上道地区で仕事をしている際、平島の災害に対応する機会があった。岡山市の方にいろいろ要望はしたが、すぐに対応してもらうのは難しかった。
- ・ たくさんのお話を聞くことができ良かった。玉野市でも、障害のある方や高齢の方の避難や防災については、考えていかなければならない問題だと感じている。
- ・ 5年目までの若手の先生方を育ててほしい。若い先生方が、授業を行うことに対して困難さや、モデルになる先輩がいないと感じている。
- ・ 30年7月豪雨の時、私たちの地域は被害がなかった。地域のことはやはり地域でやっけていかないと、遠くに頼っても無理がある。そのところは大切にしていきたい。
- ・ 早期のキャリア教育についてのお話があった。仕事のスキルはもちろん大切だが、基本的な生活習慣の確立やコミュニケーションについてしっかり学んでいる方の方が仕事は長続きしていると感じている。そちらも大切にしていきたい。
- ・ 支援学校は、小中高と長いライフステージをカバーしている。私もアンテナをしっかりとって、この会のお役に立てるようにしていきたい。
- ・ いつも子育てでバタバタしている。学校がいろいろな役割を果たしてくれていることが分かった。三男が本校でお世話になっている。地元の行事に行った際、次男の下に弟がいるのを知らなかったというのを聞き、地域と触れ合っておくことの大切さを感じた。

#### 6 閉会あいさつ 校長

